

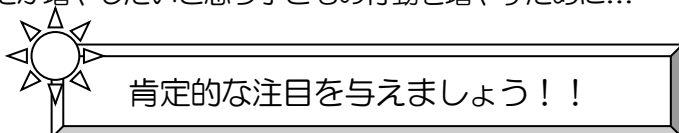
第3回 肯定的な注目を与えよう

1. 前回の復習 & 宿題

- 「行動」を3つに分けることは難しかったですか？
- それぞれどういった行動がありましたか？

目に見えるもの、聞こえるもの、
数えられるもの、「～する」

2. あなたが増やしたいと思う子どもの行動を増やすために...



- ① 子どもはあっという間にその行動をするようになります
- ② 子どもは認められていると感じます ⇒ ③ 他のことでも協力的になります

肯定的な注目の与え方はいくつかの方法があります

- ☆ ほめる
- ☆ 励ます
- ☆ その行動に気づいていることを知らせる
- ☆ ほほえむ
- ☆ 感謝する
- ☆ 興味や関心を示す
- ☆ そっと肩に触る
- ☆ 次の活動にさそ

3. 「ほめ方」のコツ

25%ルール!

- ① タイミング : 課題が完全に終わった時だけほめるのはいけません。
してほしい行動を始めた時、しようとしている時、している時、指示にすぐに従っている時、してほしくない行動をしていない時...できるだけ早く。
パーフェクトを待ってはいけません! 25%でほめましょう!!
- ② 視線・からだ : 子どもと視線を合わせましょう。子どものそばに行くか、子どもをあなたのそばに呼びましょう。そして子どもと同じ目の高さになりましょう。
- ③ 表情 : 穏やかな表情で。ほほえみたくなったら、そうしましょう。
- ④ 声の調子 : 穏やかで暖かみのある声、明るい声。
あなたが気持ちが良い、うれしいと感じていることを表しましょう。
- ⑤ ことば : メッセージは短く、簡潔明瞭に。皮肉・批判は避ける。
(例)「よくやれたね。でももっと早くやればよかったのに」
「いつもそうしてくれたらいいのに」「先生が言った通りでしょう」
- ⑥ 行動をほめる : 子どもをほめるではありません。子どもの行動をほめましょう。
(例)「えらいね」⇒「静かに座れてるね」「教科書をもう開いたんだね、早いなあ」
- ⑦ 効果的にほめる : 子どもの性格や感じ方、年齢に合わせたほめ方をしましょう
☆その子どもはチアリーダータイプ? or 静かに認められたいタイプ?